KDKHGB－001

NGKグループ行動規範
ガイドブック

日本ガイシ

NGKグループの皆さんへ

NGKグループでは、NGKグループの役員および従業員が遵守すべき事項をとりまとめたNGKグループ行動規範を制定し、期首の通達および各本部、各事業本部のトップメッセージなどで、行動規範にそった行動を皆さんにお願いしています。

このたび、求められる行動内容についての理解を一層深めていただきたいと考え、同内容を具体的に示したガイドブックを作成しました。

ガイドブックでは、行動規範の各事項について、「私たちの心掛けや行動」を記載していますので、皆さんご自身や皆さんの職場で積極的に活用ください。

また、本ガイドブックは、PDFファイルによる配信の他、NGKホームページにも掲載しますので、お手元のパソコンやスマホでいつでも気軽に参照することが可能です。

目 次

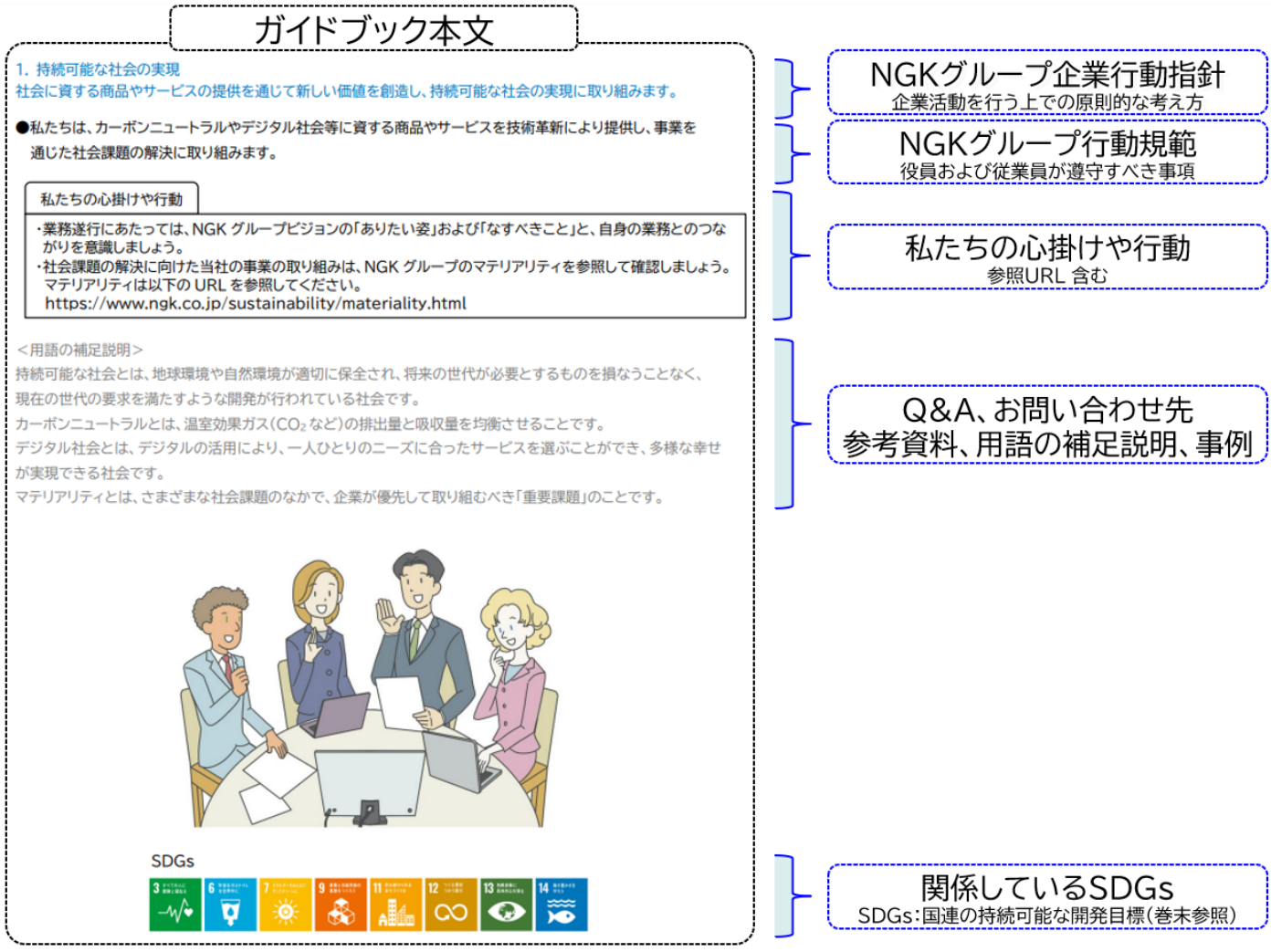
［ガイドブック本文］

1. 持続可能な社会の実現	P.3～P.4
2. 人権尊重	P.5～P.7
3. 安全快適な職場環境の提供	P.8～P.9
4. 誠実な事業活動	P.10～P.19
5. 企業情報の開示と説明	P.20
6. サプライチェーンへの社会的責任の浸透	P.21～P.22
7. 地球･宇宙環境の保全	P.23～P.24
8. 地域、社会との協調	P.25
［その他、ESG 課題に関するテーマ］	P.26

［NGK グループ企業行動指針および行動規範　全文］

［国連　SDGs］

ガイドブックの構成



1. 持続可能な社会の実現

社会に資する商品やサービスの提供を通じて新しい価値を創造し、持続可能な社会の実現に取り組みます。

●私たちは、カーボンニュートラルやデジタル社会等に資する商品やサービスを技術革新により提供し、事業を通じた社会課題の解決に取り組みます。

私たちの心掛けや行動

・業務遂行にあたっては、NGK グループビジョンの「ありたい姿」および「なすべきこと」と、自身の業務とのつながりを意識しましょう。
・社会課題の解決に向けた当社の事業の取り組みは、NGK グループのマテリアリティを参照して確認しましょう。
マテリアリティは以下の URL を参照してください。
https://www.ngk.co.jp/sustainability/materiality.html

＜用語の補足説明＞

持続可能な社会とは、地球環境や自然環境が適切に保全され、将来の世代が必要とするものを損なうことなく、現在の世代の要求を満たすような開発が行われている社会です。

カーボンニュートラルとは、温室効果ガス（CO_2 など）の排出量と吸収量を均衡させることです。

デジタル社会とは、デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会です。

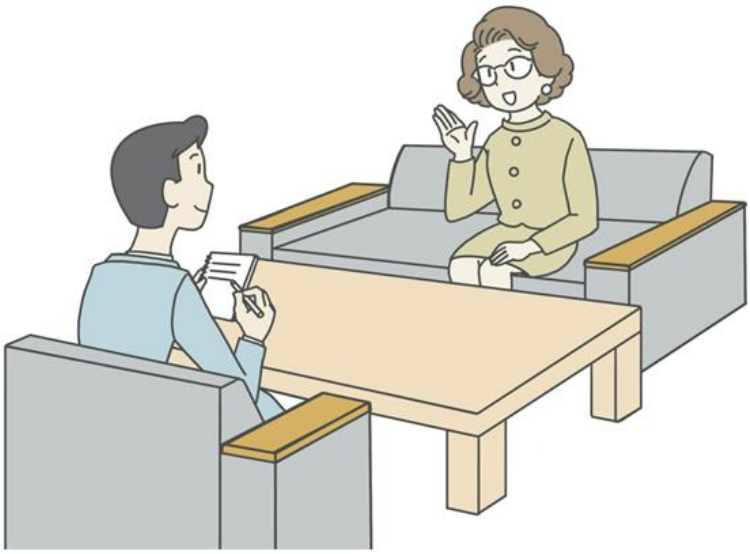
マテリアリティとは、さまざまな社会課題のなかで、企業が優先して取り組むべき「重要課題」のことです。

SDGs

●私たちは、お客さまと社会からの新たなニーズや改善への要望に耳を傾け、商品やサービスの開発や改良を行います。

私たちの心掛けや行動

・社外の人と積極的に交流し、世の中の動き、お客さまの声、新しい技術などへの感度を高く保ちましょう。
・クレームや事故には迅速かつ誠実に対応しましょう。事実を正確に認識し、原因を追究して再発防止を徹底しましょう。



SDGs

●私たちは、安全性に十分に配慮し、環境規制を遵守した品質の高い商品やサービスを提供することにより、お客さまと社会からの信頼に応えます。

私たちの心掛けや行動

・リスクアセスメントを行い、安全性を最優先し、環境にも配慮した設計、開発を行いましょう。
・お客さまの視点に立った信頼される品質を追求し、安心と信頼のある商品やサービスを安定的に供給しましょう。

2. 人権尊重

人権に関する国際規範を遵守し、人々の多様性を尊重します。

●私たちは、互いの個性と自主性および女性の権利を尊重し、人種・国籍・性別・性的指向およびジェンダーアイデンティティ・年齢・宗教・信条・障がいの有無などによる差別は行いません。

私たちの心掛けや行動

・人権の大切さを理解し、お互いを認め合い、尊重し合いましょう。
・職場の仲間の個性や自主性、多様性を尊重し、差別的な考え方や偏見を持たずに公平に接しましょう。
・多様な人材の活躍を促進しましょう。
・宗教上の慣習や障がいのある方にも適切な配慮をしましょう。

SDGs

●私たちは、職場における、ハラスメントや不快なまたは[*1] 非人道的な待遇の発生を防止し、発生があった場合には迅速に適切な対応をとります。

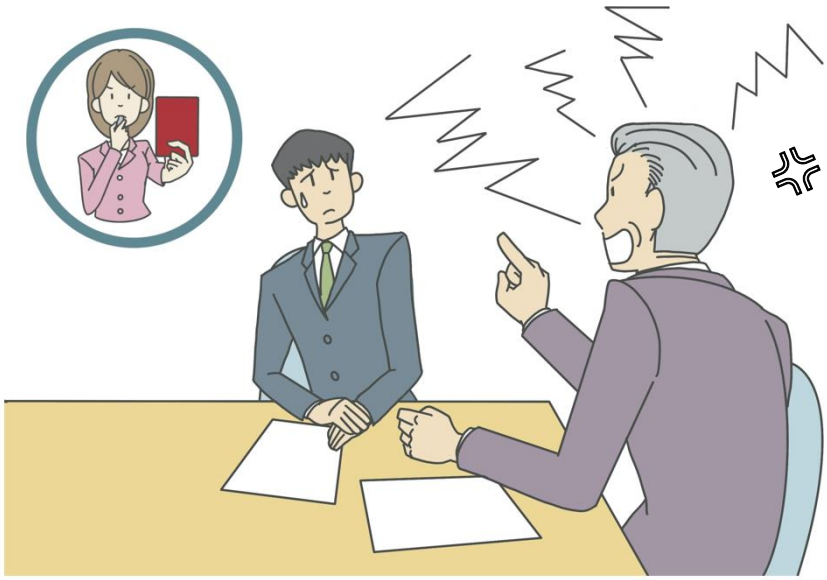
私たちの心掛けや行動

・ハラスメントの多くは、コミュニケーション不足や互いの、あるいは相手の立場や気持ちを思いやることができないことから起こることを認識しましょう。
・もし、ハラスメントにあったら、悩まず周りの人に相談しましょう。
・上司から積極的に声を掛け、適切なコミュニケーションを図り、風通しのよい職場にしましょう。
・その指導は業務改善のための指導になっていますか。人格や尊厳を否定するような暴言や叱責、またプライバシーの侵害につながるような指導を行ってはいけません。
・また、取引先など社外の人へのハラスメントや迷惑行為も同様に行ってはいけません。（会食の席などでも許されません。）

＜用語の補足説明＞

職場とは、労働者が通常働いているところはもちろんのこと、出張先や実質的に職務の延長と考えられるような会食なども職場に該当します。

[*1] 非人道的な待遇とは、労働者に対する暴力、ジェンダーに基づく暴力、セクシャルハラスメント、性的虐待、体罰、精神的もしくは肉体的な抑圧、いじめ、公の場での侮辱やみせしめ・晒し、または言葉による虐待等を指します。



SDGs

●私たちは、*2 強制労働や児童労働のない事業活動を行います。各国および地域の労働関連の法令を遵守し、若年労働者へ適正な労働条件を提供します。

私たちの心掛けや行動

・強制労働や児童労働に関し、利用しない、加担しない、利益を得ないようにしましょう。
・児童労働に関し、年齢確認を確実に行いましょう。
・違法な危険労働などをさせないよう、若年労働者の労働条件に注意しましょう。

＜用語の補足説明＞

*2 強制労働とは、強制、拘束（債務による拘束を含む）または拘留労働、非自発的または搾取的囚人労働、奴隷労働または人身売買を指します。

●私たちは、事業活動にともなう土地、森林、水資源の取得、開発、またはその他目的の使用において、強制立ち退きや、対象資源の収奪を行うなど先住民やその他関係者の権利を侵害しません。

私たちの心掛けや行動

・事業活動による大気・土壌汚染や水質汚濁などが、地域住民（先住民含む）や関係者の健康で快適な生活の権利を侵害しないよう、十分注意しましょう。
・事業活動が、社会的に立場の弱い人々や紛争影響地域と関わりがある場合、人権侵害への影響に留意しましょう。

3. 安全・快適な職場環境の提供

安全・快適で誰もが働きやすい職場環境を提供します。

●私たちは、各国および地域の労働関連の法令を遵守し、労働時間・休日・休暇・賃金・福利厚生などの労働条件を適正に提供します。

私たちの心掛けや行動

・労働時間（残業時間など）は正しく申告しましょう。
・有給休暇の取得を推進し取得率を高めましょう。

●私たちは、各国および地域の法令に基づき、社員の結社の自由および団体交渉に関する権利を尊重します。

私たちの心掛けや行動

・結社の自由および団体交渉に関する権利を尊重して、良好な労使関係を構築し、誰もが働きがいのある職場づくりを促進しましょう。
・結社の自由と団体交渉に関する権利の行使は、対立ではなく、建設的な対話の機会とするよう努めましょう。

●私たちは、各国および地域の安全衛生関連の法令を遵守し、社員が安全に安心して働ける職場を提供し、社員が心身ともに健康であることを追求します。

私たちの心掛けや行動

・働く人の安全と健康は経営の基盤と認識し活動強化に努めましょう。
・安全衛生に関する法令や社内ルールを遵守してください。
　-安全衛生管理部門から提供される法令などの改正情報に留意し、必要な対応を行いましょう。
　-資格が必要な作業は、必ず資格を持った人が行いましょう。
・継続的に職場の作業環境改善を行い、安全衛生水準の向上に努めましょう。
・健康障害を防止するため長時間労働はなくしましょう。

SDGs

●私たちは、仕事と生活の調和を図り、多様な働き方の実現を目指します。

私たちの心掛けや行動

・多様な働き方を、お互いに認め合い、尊重し合いましょう。
・多様な人材の活躍を促進しましょう。
・働きやすさ、働きがいを高めましょう。

●私たちは、社員との誠実な対話と協議を通じて信頼関係を構築します。

私たちの心掛けや行動

・建設的な対話により、円滑な労使関係を築き、課題解決に努めましょう。
・会社と労働組合、社員が、自社の経営環境や課題を共有し、一体感をもって取り組むため、労使のコミュニケーションの活性化を図りましょう。

●私たちは、社員に教育の機会を与えるとともに、意欲・能力を伸ばす機会を提供します。

私たちの心掛けや行動

・高度な知識、技術、能力を身につけ、主体的に問題に取り組みましょう。
・チームワークを発揮し、粘り強く成果につなげましょう。
・自律的に成長し、自身と会社を変革し続けましょう。

4. 誠実な事業活動

国際規範や各国および地域の法令を遵守し、公正かつ透明で誠実な事業活動を行います。

●【倫理に基づいた事業活動】

私たちは、国際社会の一員として国内外の法令を遵守するとともに、各国および地域の文化や歴史を尊重し、高い倫理観を持って、誠実に行動します。決められたルールを守り、自信をもって仕事に取り組みます。

私たちの心掛けや行動

・コンプライアンス最優先で行動しましょう。
・積極的なコミュニケーションを心掛け、どんなことでも相談でき、お互いを尊重できる職場にしましょう。
・コンプライアンス違反を発見したら、勇気を持って　①逃げない　②隠さない　③目をそらさない
・その行動は、家族に自信を持って話せますか。

＜Q&A＞

Q:わからないことがある場合や、判断にまよったときはどうすればよいでしょうか。

A:上司やコンプライアンス部門などへ相談しましょう。

一人で悩まず、問題をオープンにすることで、適切な対応を取れるようになります。

上司やコンプライアンス部門への相談が難しい時は、ヘルプラインやホットラインでも相談できます。

＜用語の補足説明＞

コンプライアンスとは、ステークホルダーの期待に応えることです。

ステークホルダーとは、お客さま、株主、取引先、従業員、社会など、会社と直接または間接的に利害関係を有する関係者です。

SDGs

●【腐敗防止】

私たちは、*3 贈収賄、横領、背任、*4 利益相反、*5 インサイダー取引、*6 マネー・ローンダリング、司法妨害、および個人や組織の利得のために自己の職務上の権限や地位を濫用する行為を行いません。また腐敗行為の包括的な防止に努めます。

私たちの心掛けや行動

・腐敗行為は、正当な事業活動を阻害し、経済成長や貧困撲滅を妨げることにより人権侵害を招くため、一切行ってはいけません。
・不正な利益を目的とした接待や、個人の利益につながるような現金や現金同等物の供与・贈答をしてはいけません。また、同様の申し出があった場合は、はっきり断りましょう。
・代理店やコンサルタントを介して腐敗行為に関与してはいけません。

＜Q&A＞

Q：導入を検討している新製品の説明会参加のお礼として、サプライヤーから 5,000 円のギフト券が送付されてきました。どうすればよいでしょうか。

A：直ちに返却してください。新製品の選定等において、現金同等物や高額な贈答品を受け取ることは極めて不適切です。

＜お問い合わせ先＞ グループコンプライアンス部

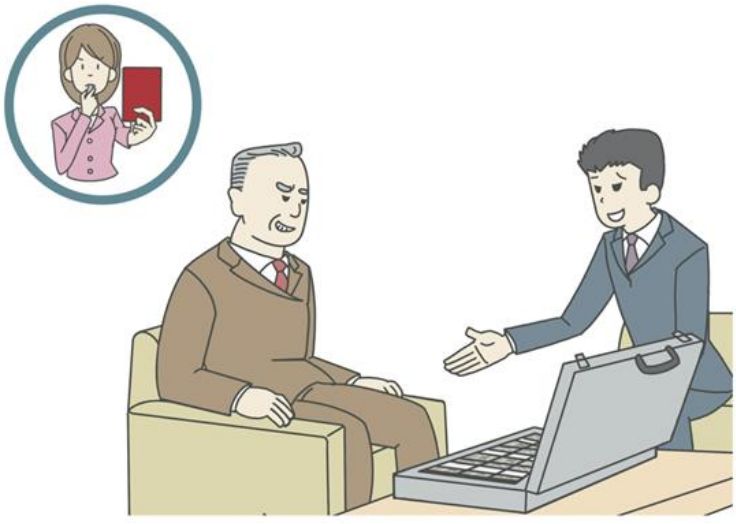
＜用語の補足説明＞

*3 贈収賄とは、不正な利益を得る目的で他者に金銭、贈答、接待等の供与（贈賄）を行うことを指します。その防止のためには、事業活動を行う各国および地域において公務員や政府関係者を含むステークホルダーと健全な関係を保ち、他者からのこれらの利益提供（収賄）は受けないことが重要です。また、贈答や接待は、業務上の正当な理由がある場合に限り、社会通念上妥当な範囲内で行い常習的な贈答、接待は避けなければなりません。さらに、許認可、ライセンスの取得、通関手続きなどの日常的なサービスを円滑かつ迅速に受けるために公務員に対して少額の金銭を支払う行為（ファシリテーションペイメント）も行ってはなりません。また、現金、備品、ソフトウェア、車両等、会社の資産を正当な業務目的のみに使用するとともに適切に管理し、自己または第三者のために利用しないことも重要です。

*4 利益相反とは、個人的な利害関係がある相手を取引先として選定したり、会社の事業と競合する事業を行うこと等、会社の利益を犠牲にして個人的な利益を得たり、親族や友人等第三者に利益を供与することを指します。

*5 インサイダー取引とは、会社や取引先等の未公表の重要な情報を用いて株式等の有価証券の売買を行うことを指します。それを行わないためには重要な情報の取り扱いに十分注意しなければなりません。

*6 マネー・ローンダリング（資金洗浄）とは、脱税、粉飾決算等、違法な行為によって得られた資金を隠蔽したり偽装したりすることを指します。



SDGs

●【公正な競争】

私たちは、市場における自由な競争の重要性を認識し、各国および地域に適用される競争法を遵守して、公正かつ自由な競争を行います。私たちは、同業他社等とのカルテル行為、またはそのような行為に該当すると疑われる行為を一切行いません。

私たちの心掛けや行動

・自身の競争者を確認しましょう。
・正当な理由があって競争者と接触する場合でも、禁止事項(不当な取引制限またはこれを疑わせる事項)について話をしてはいけません。
・もし競争者が禁止事項に関する話をしてきたら、直ちに会話を止めて、ホットラインへ連絡してください。

＜Q&A＞

Q:代理店へ販売した製品について、代理店に対して再販売価格を指示してもよいでしょうか。

A:再販売価格の指示(拘束)は競争法違反になります。絶対にしてはいけません。

＜お問い合わせ先＞　グループコンプライアンス部

[参考資料:競争法遵守ハンドブック]

＜用語の補足説明＞

禁止事項(不当な取引制限またはこれを疑わせる事項)を以下に示します。

・製品の販売価格、販売数量、販売先、販売手数料、販売地域の割り当て等
・製品の生産量、生産能力、原材料購入量、設備稼働率、設備投資計画等
・入札における受注者割り当て、落札価格等

SDGs

●【契約の確実な履行】

私たちは、お客様および取引先との契約や合意を誠実かつ確実に履行し、信頼に応えます。事前に合意した条件による履行が難しい場合は、予め協議して両者で決定した条件で履行します。また、社会規範や法令に反する契約は一切締結しません。

私たちの心掛けや行動

・契約で決められたことは必ず守りましょう。定められた仕様や特性を満たさないことがわかったら、すぐに上司に相談してください。
・事業活動を進める中で、契約内容と異なる条件で契約先と合意して実施してきた事項がある場合には、速やかに契約書を修正してください。
・定期的に契約書を見直し、確実に履行できていることを確認しましょう。

＜お問い合わせ先＞　法務部

●【個人情報・機密情報の保護】

私たちは、個人情報に関する法令および社内ルールを遵守し、正当な業務目的がある場合に限り、個人情報を収集、利用し、厳格に管理します。また、会社および第三者の機密情報の管理を徹底し、漏洩防止に努めます。

私たちの心掛けや行動

・個人情報が流出すると、提供してくださった個人へご迷惑をかけ、社会からの信頼も失うことを認識し、流出防止に努めましょう。
・個人情報や会社の機密情報にはアクセス権限を設定し、定期的に見直しましょう。
・個人情報の取扱いを委託する場合は、適切な委託先を選定し、適切な契約の締結を行うとともに、委託先の個人情報の管理体制等について定期的に確認を行いましょう。
・会社の機密情報も個人情報同様、漏洩しないよう取り扱いには細心の注意を払う必要があります。
・公共交通機関、タクシー内や飲食店等では、会社の機密情報に関する話をしてはいけません。
・会社内部を許可なく撮影したり、インターネットや SNS などに掲載したりしてはいけません。
・パソコン等機密情報の入った機器を社外に持ち出す場合は常に携行し、置き忘れや盗難に気を付けましょう。

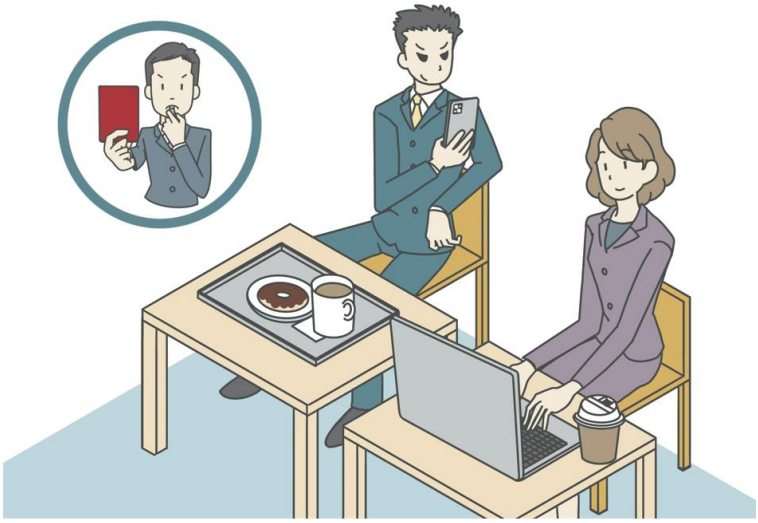
＜Q&A＞

Q：退職した方から、元同僚と連絡を取りたいので社用メールアドレスを教えて欲しいとの依頼がありました。提供してもよいでしょうか。

A：いいえ、いけません。犯罪等に悪用される可能性もありますので、いかなる事情があっても、他人の個人情報を提供する時には、必ず本人の同意を得るようにしましょう。

＜お問い合わせ先＞　総務部

［参考資料：電子情報セキュリティハンドブック、文書管理ガイドライン］



SDGs

●【知的財産の保護】

私たちは、極めて重要な経営資源である*7 知的財産権を積極的に創造、保護、活用します。私たちは、偽造／模倣品の排除に向け必要かつ適切な措置を講じます。私たちは、他者の知的財産権を侵害しないように努めます。

私たちの心掛けや行動

・知的財産は極めて重要な経営資源であり、会社の競争力の源泉です。積極的な知的財産の創造、保護、活用を心がけましょう。
・当社の知的財産権が侵害された場合、当社はその権利を主張します。偽造・模倣品や侵害に気づいた場合には、知的財産部門に連絡しましょう。
・当社は他者が保有する知的財産権も尊重します。日々の業務において、第三者の知的財産権を侵害しないよう十分に調査しましょう。権利者に無断で、特許を実施することや、ソフトウェアや画像などをダウンロード、コピーすることは違法です。
・困ったことや分からないことがあれば、自分で判断せず、専門部に相談しましょう。

＜お問い合わせ先＞　知財戦略部

＜用語の補足説明＞　*7 知的財産権とは、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権、等を指します。

SDGs

●【確実な輸出入管理】

私たちは、製品その他の貨物、技術およびソフトウェアの輸出にあたり、国際社会の平和と安全の維持等のため、関連法令及び社内規則を遵守し、適切な輸出管理を行います。私たちは、製品等の輸出入にあたり、各国および地域の関連法令に従い、正しく通関申告を行います。

私たちの心掛けや行動

・貨物、技術およびソフトフェアの輸出入を行う際は、各国および地域の関連法令を遵守し、社内で決められた手続を確実に行いましょう。
・貨物、技術およびソフトフェアの輸出にあたっては、武器や兵器に利用されるおそれはないか、事前に用途や需要者を確認しましょう。
・社内手続による確認の結果、行政庁の許可等が必要な輸出に該当する場合は、事前に行政庁の許可等を取得することなく輸出してはいけません。
・輸出入規制に違反すると、会社に対して輸出入の禁止、輸出入許可の取消し等の厳しい処分が下されることがあります。また、個人への刑事罰が科せられる場合もあることから、違反防止に努めましょう。

＜Q&A＞

Q:海外のグループ会社との Web ミーティングで、製品図面を提示して討議しました。何か問題はありますか。

A:製品図面の海外への提示は技術の輸出に当たりますので、事前に社内ルールに沿った許可要否の確認が必要です。不明点は専門部へ問い合わせましょう。

＜お問い合わせ先＞　法務部、資材部

SDGs

●【商品・サービスの品質・安全性確保】

私たちは、お客様との対話を通じて常に商品・サービスの品質向上に努めます。私たちは、品質に関するデータはお客様との約束にもとづいて取得・保管・確認を行い、データの盗用、改ざん、差し替え、隠ぺい等の不正行為は行いません。事故・不具合が発生した場合は直ちに適切な対応をとります。私たちの商品・サービスがお客様の安全に影響を及ぼすおそれが懸念される場合は、その発生、拡大を防ぐため迅速・適切に対応します。

私たちの心掛けや行動

・お客様との約束の内容がわからない時や約束を守ることが困難になった時は、速やかにお客様と協議して、合意した内容で実施してください。また、合意した内容を相互に確認し、記録に残しましょう。
・お客様からの苦情や問い合わせに対しては、事実関係を十分確認した上で、関連部門と情報を共有して迅速に解決するように努めましょう。
・測定データ等で判断に迷う時は、個人で判断せず、必ず上司に相談しましょう。
・試験や測定で少しでも異常に気づいたら、試験や測定を一旦中止して、すぐに上司に報告しましょう。

＜Q&A＞

Q:お客様指定の部品の納期が遅れ、完成品の納入が遅れそうです。同じ性能の部品なら在庫があるので使えますが、お客様に連絡せず使ってよいでしょうか。

A:いいえ。お客様に申し出して、了解を得てから使いましょう。了解が得られない場合は、納期の調整を行うなどの措置を講じましょう。

●【正確な記録】

私たちは、適時・適切な情報開示を行うため、適用される法令や規則、社内ルールを遵守し、内部統制システムの確立と適切な運用により、財務情報及びその他の情報について正確な記録の作成と報告を行います。また、全ての記録は適用される法令や規則、社内ルールに沿って適正に保存・廃棄・消去を行います。

私たちの心掛けや行動

・記録の作成にあたっては、事実を記載し、正確な記録を残しましょう。
・虚偽記録の作成や、データの改ざん、経費の不正な報告・計上等は行ってはいけません。

＜Q&A＞

Q:製品在庫を現場で確認し、パソコンへデータ数量を入力しました。後日再確認したところ数が間違っていましたが、報告締切日を過ぎており、データ修正ができない状態になっていました。このまま放置しておいてよいでしょうか。

A:いいえ。わかった時点で上司へ報告し、データを修正しましょう。データの間違いに気づいたのに報告・修正しない行為は、懲戒処分の対象になりえます。

●【反社会的勢力への対応】

私たちは、反社会的勢力には毅然とした態度で臨み、一切関係を持ちません。反社会的勢力から接触があった場合は、個人で対応せず、直ちに上司(担当部門)に報告します。

私たちの心掛けや行動

・反社会的勢力と関わってはいけません。
・高額な雑誌の購読、出先工事現場でのみかじめ料等の支払い要求には応じず、すぐに上司に報告しましょう。
・反社会的勢力に対して接待等の便宜を図り、その影響力を利用する行為をしてはいけません。
・取引にあたっては、相手方が反社会的勢力と関わりがないことを確かめ、契約内容には反社会的勢力の排除に関する条項を入れましょう。

＜お問い合わせ先＞　総務部

SDGs

●【行政との正常な関係維持】

私たちは、政治・行政と透明度の高い健全かつ正常な関係を維持することに努め、政治献金・寄付等は、各国および地域の法令に従って実施し、社会から疑念や不信感を招く行動はしません。

私たちの心掛けや行動

・許認可の手続き等において便宜を図ってもらうことを目的とした接待等は行いません。
・当社業務を委託する代理人(代理店、コンサルタント等)にも、行政との正常な関係を維持することを周知・徹底してください。

公務員に対する贈り物は、以下のガイドラインを参考にしてください。
・国家公務員の倫理保持のためのルール
https://www.jinji.go.jp/content/900020277.pdf
・国家公務員倫理規程事例集(わかりやすい Q&A)
https://www.jinji.go.jp/content/000000404.pdf

＜Q&A＞

Q:許認可担当の県庁職員へ季節の贈り物をすることは問題ありませんか。

A:便宜を図ってもらう意図が無くても当社の許認可の審査期間前後は疑いを招く可能性がありますので、贈り物はしないでください。それ以外の期間でも高額な贈り物などは避けるべきです。

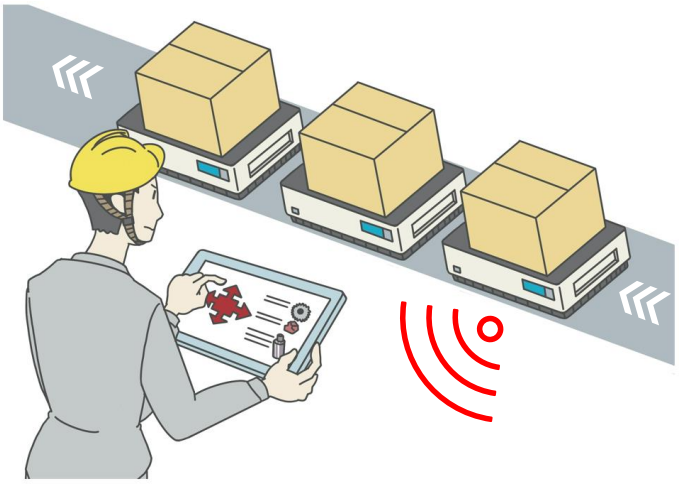
＜お問い合わせ先＞　グループコンプライアンス部

●【事業上のリスク管理】

私たちは、業務に関するリスクを常に意識してリスクマネジメントを実践し、リスクを把握して未然防止に努めます。リスクが発生した場合は、迅速に対応し、ステークホルダーへの影響の最小化に努めます。

私たちの心掛けや行動

・業務上のリスクを把握し、未然防止に努めましょう。
・職場に以下のようなリスクはありませんか。
  -不十分な技術継承や人材育成による業務への支障
  -お客さまからの要望への対応や開発の遅れによる機会損失
  -納期や開発期間の優先による、決められた手順からの逸脱
  -業務集中や長時間労働による健康被害の発生
  -設備管理不備による事故の発生、生産への支障
・問題が発生した場合には、すぐに上司に報告しましょう。



SDGs

●【内部通報制度の整備と報復の禁止】

私たちは、コンプライアンス違反またはその疑いのある行為を発見した場合は、速やかに上司または内部通報窓口に報告します。報告を行った者に対する報復は一切しません。

私たちの心掛けや行動

・コンプライアンス違反またはその疑いのある行為について、職場の上司等に相談できない場合は、NGK グループが設置する内部通報窓口であるヘルプライン・ホットライン窓口に相談・報告しましょう。
・NGK グループは、通報・相談者への報復行為を禁じています。違反を発見した場合は、目をそらさないで声を上げましょう。その声が違反行為を止め、未然防止につながります。

<お問い合わせ先>グループコンプライアンス部

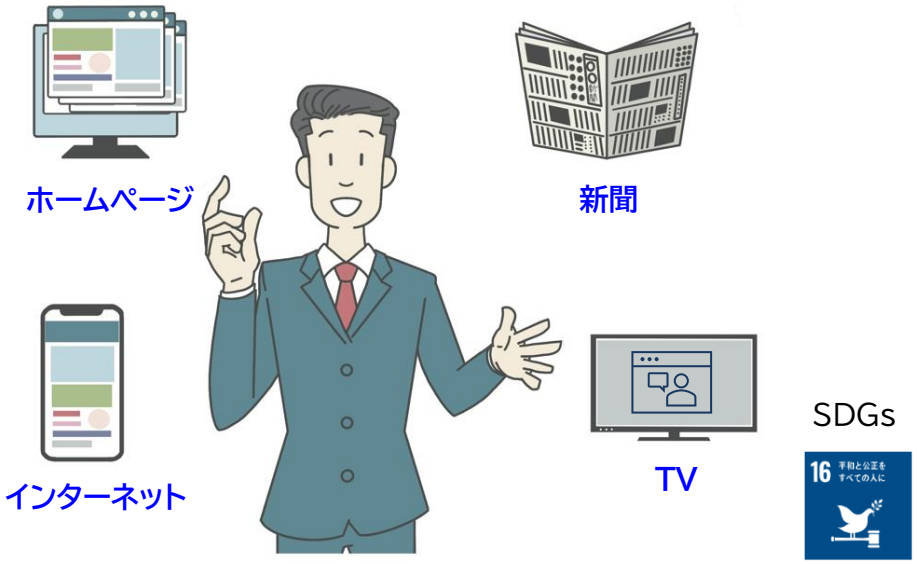
5. 企業情報の開示と説明

積極的な情報の開示とステークホルダーとの対話を通じて経営の健全性と透明性を高めます。

●私たちは、社会が必要とする情報は、正確かつ速やかに開示します。

私たちの心掛けや行動

・会社の業績や製品に関する情報などを積極的に開示します。
・不正や製品欠陥などを発見したらすぐに上司に報告しましょう。
　-もし、重大な不正や製品の欠陥を開示しなかったら、社会の信頼を裏切るだけでなく、事故につながる可能性も有り得ます。
・企業情報について外部から問い合わせを受けた場合は、自身で対応せず、広報担当部門へ連絡しましょう。



●私たちは、ステークホルダーの声を真摯に受け止め、説明責任を果たします。また、ステークホルダーとの継続的な対話を通じて、信頼関係を構築します。

私たちの心掛けや行動

・統合報告書やホームページなどに対する読者の意見に誠実に答えるなど、主体的に双方向のコミュニケーションを行いましょう。
・各種イベントの開催や工場見学を通じて、事業活動に対する理解を広げるなど、地域社会との対話を促進しましょう。
・対話をさらに発展させ、ステークホルダーと協働して、社会貢献活動に取り組むなど、共通の社会的課題の解決に取り組みましょう。

6.サプライチェーンへの社会的責任の浸透

取引先をはじめとするサプライチェーン全体で、社会的責任を果たす取り組みを推進します。

●私たちは、取引先は対等なパートナーとして尊重し、信頼関係の構築と相互発展に努めます。

私たちの心掛けや行動

・取引先とは公正、自由、透明な取引を行いましょう。
・門戸を開放し、利害関係にとらわれない取引先を選定しましょう。
・下請法を遵守し、買いたたき、受領拒否、正当な理由のない返品など優越的地位を用いた不公正な取引は行ってはなりません。
・個人の利得を得るために便宜を図ることは絶対にやめましょう。
・取引先との丁寧な対話や交渉を前提とした、品質・価格・納期・安定調達などを求めましょう。

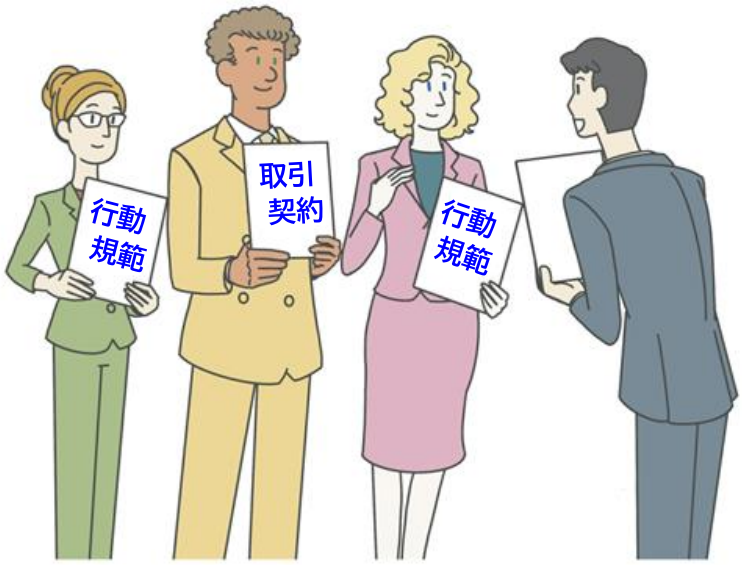
＜用語の補足説明＞
下請法（下請代金支払遅延等防止法）とは、親事業者による下請事業者に対する優越的地位の濫用行為を取り締まるために制定された法律。

SDGs

●私たちは、責任ある資源調達の遂行、グリーン調達拡大を通じて、地域や社会の安全・発展に貢献します。

私たちの心掛けや行動

・サプライチェーン全体で、社会的責任を果たしていきましょう。
・鉱物資源の調達では、紛争地域で非人道的行為を行う武装勢力の資金源になっている紛争鉱物ではないことを確認しましょう。
・取引先と協力して、クリーンエネルギー利用や、地球環境に配慮した資材採用の拡充に努めましょう。



SDGs

●私たちは、サプライチェーン全体に人権尊重、良好な労働環境、法令遵守に支えられた誠実な事業活動を求めます。

私たちの心掛けや行動

・法令遵守の徹底や、人権を含む国際規範の尊重を求めます。
・NGK グループの方針・指針・規範などを周知し、遵守を働きかけます。
・改善が必要と思われる事項が確認された場合には、関係者と連携し、適切かつ効果的な是正・改善に取り組みます。

7. 地球・宇宙環境の保全

地球・宇宙環境の保全と問題の解決に取り組みます。

●私たちは、カーボンニュートラルへの貢献等、地球・宇宙環境の保全に貢献する商品やサービスを提供します。

私たちの心掛けや行動

・環境貢献製品・低環境負荷製品の開発・設計・製造および、その関連サービスの普及に努めましょう。
・プロセスや設備の省エネ対策および再生可能エネルギー利用の拡大など、エネルギーを効率的に利用し CO_2 排出量削減に努めましょう。

●私たちは、サーキュラーエコノミーに向けた行動や水資源の有効活用等、事業活動における環境負荷の低減に率先して取り組みます。

私たちの心掛けや行動

・資源の有効利用や長期使用の視点での商品やサービスの提供により、サーキュラーエコノミー（循環型経済）の確立に貢献します。
・研究、開発、設計、調達、生産、販売、物流、廃棄に至る全てのプロセスで、省エネ、省資源に取り組みましょう。

省エネ	-乾燥や焼成の時間短縮、条件見直しなど、設備や工程の改善を推進しましょう。 -省エネパトロールや空調の範囲・設定温度見直しなどを行いましょう。
省資源	-原料ロスの低減や工程内再利用を推進しましょう。 -3R（リデュース、リユース、リサイクル）推進、廃棄物の分別、ペーパーレスを徹底しましょう。 -水資源の有効利用を心がけましょう。

・耐久性や修理可能性などの製品やサービスの特徴を生かして、長期使用の観点での提供を推進しましょう。

●私たちは、生物多様性の保全と持続可能な利用に取り組みます。

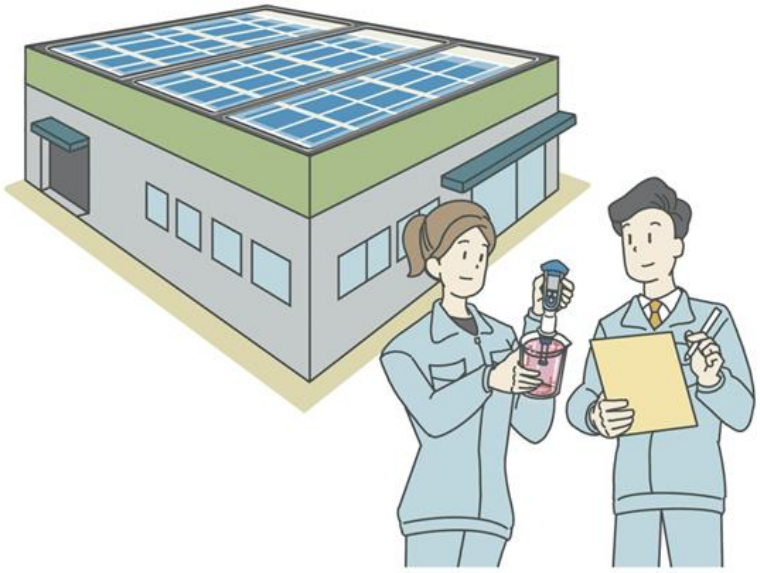
私たちの心掛けや行動

・私たちは、活動している地域と自然の接点を意識して事業活動や社会貢献活動を行うことにより、生物多様性の保全や回復に貢献し、自然との共生を実現します。
・資源やエネルギーの効率的利用、水質や大気の監視、排出物の削減・再利用・リサイクル、リスクアセスメント、監査、教育、委員会活動など環境管理を確実に行いましょう。
・地域や自治体と協同し、自然保護域の保全や森林整備、植林、海岸・河川・湿原域整備など社会貢献活動に積極的に参加しましょう。
・生物多様性への理解を深めて意識を高めるため、啓発活動などに積極的に参加しましょう。

●私たちは、各国および地域の環境関連の法令を遵守します。

私たちの心掛けや行動

・環境に関する法令や基準を確認し、確実に遵守してください。
・部門で守るべき適用法令、排出基準を確認しましょう。
・水質や大気などの測定記録を正確に残しましょう。
・行政へ届出が必要な設備は確実に届け出ましょう。
・異常を発見した場合には、すぐに上司と施設管理者に報告しましょう。



SDGs

8. 地域、社会との協調

良き企業市民として地域、社会の発展に貢献します。

●私たちは、地域、社会の一員として社会貢献活動に積極的に取り組みます。また、幅広いステークホルダーと連携・協働します。

私たちの心掛けや行動

・社会の一員として地域に信頼される企業市民であることを目指して、さまざまなパートナーと連携・協働を図り、各地のニーズに応じた社会貢献活動に取り組みましょう。
・人・教育、環境、地域とのかかわりの分野を社会貢献の活動軸として取り組みましょう。

＜お問い合わせ先＞ 総務部

●私たちは、社員の自発的な社会貢献活動を積極的に推進・支援します。

私たちの心掛けや行動

・未来を担う子どもたちにものづくりの楽しさを伝えるとともに、地域社会を発展させうる教育活動を支援しましょう。
・自然との共生に積極的に取り組み、地球環境の保全に貢献しましょう。
・社会課題に関心を持ち、信頼される企業市民として地域共生をめざし、魅力あるまちづくりに参画しましょう。
・地域での清掃や自然環境保全活動、および各種イベントのボランティア活動に参加しましょう。

＜お問い合わせ先＞ 総務部

＜事例＞

・社会貢献の活動軸と取組み

人・教育： 日本語教室

環境： みんなの森みずなみ

地域とのかかわり： 車いすテニス

・各種イベントのボランティア活動：マラソン、科学実験紹介など

SDGs

[その他、ESG 課題に関するテーマ]

現状は NGK グループでは該当はありませんが、Drive Sustainability　自動車業界のサステナビリティ指針が取引先に取り組みを求めるものに以下があります。今後、NGK グループで該当するケースが生じた場合は、行動規範などに反映する可能性があります。

[民間または公的な治安部隊・警備部隊]
現状、当社で該当はないものの、次のような、自動車業界のサステナビリティ指針があります。
「民間または公的な治安部隊・警備部隊の配備が人権の侵害に繋がる可能性がある場合、取引先は、社内の訓練や管理不足を理由に、自社の事業プロジェクトを保護する為に、民間または公的な治安部隊を利用する、または委任してはならない。」
例えば、海外の治安が悪い国や地域では、武装組織によるテロに備え、武装した警備隊を配備することが考えられます。そのような警備体制が従業員などの人権侵害につながらないことが求められます。

[動物福祉]
現状、当社で該当はないものの、次のような、自動車業界のサステナビリティ指針があります。
「動物福祉に関し、国際獣疫事務局（WOAH）が定めた動物の5つの自由を尊重する事。 いかなる動物も自動車部品に使用するという唯一の目的の為に飼育、殺害される事があってはならない。」
例えば、革製の自動車インテリアの製造などにおいて、動物に残酷または不必要に傷害を与えてはならず、作業中の動物の苦痛を回避するためにあらゆる合理的な措置を講じることが求められます。

国際獣疫事務局（WOAH）が定めた動物の 5 つの自由は以下の通りです。
（1）飢え、渇きおよび栄養不良からの自由
（2）恐怖および苦悩からの自由
（3）身体的および熱の不快からの自由
（4）苦痛、障害および疾病からの自由
（5）通常の行動様式を発現する自由

NGK グループ行動規範ガイドブック

3 版　2024 年 8 月発行

日本ガイシ

発行／日本ガイシ　ESG 推進統括部　ESG 推進部

NGK グループ企業行動指針

NGK グループは、「NGK グループ企業理念」を継続的に達成するために「NGK グループサステナビリティ方針」に基づき、公正かつ自由な競争の下、社会に有用な付加価値および雇用の創出と自律的で責任ある行動を通じて、持続可能な社会の実現を牽引する役割を担います。そのため NGK グループは、国の内外において次の8原則に基づき、関係法令、国際ルールおよびその精神を遵守しつつ、高い倫理観をもって社会的責任を果たしていきます。

1. 持続可能な社会の実現

社会に資する商品やサービスの提供を通じて新しい価値を創造し、持続可能な社会の実現に取り組みます。

2. 人権尊重

人権に関する国際規範を遵守し、人々の多様性を尊重します。

3. 安全・快適な職場環境の提供

安全・快適で誰もが働きやすい職場環境を提供します。

4. 誠実な事業活動

国際規範や各国および地域の法令を遵守し、公正かつ透明で誠実な事業活動を行います。

5. 企業情報の開示と説明

積極的な情報の開示とステークホルダーとの対話を通じて経営の健全性と透明性を高めます。

6.サプライチェーンへの社会的責任の浸透

取引先をはじめとするサプライチェーン全体で、社会的責任を果たす取り組みを推進します。

7. 地球・宇宙環境の保全

地球・宇宙環境の保全と問題の解決に取り組みます。

8. 地域、社会との協調

良き企業市民として地域、社会の発展に貢献します。

経営トップは、本指針の精神の実現が自らの役割であることを認識して経営にあたり、実効あるガバナンスを構築して NGK グループ内に周知徹底を図ります。あわせてサプライチェーンにも本指針の精神に基づく行動を促します。
また、本指針の精神に反するような事態が発生した時には、経営トップが率先して問題解決、原因究明、再発防止等に努め、その責任を果たします。

NGKグループ行動規範

1. 持続可能な社会の実現

社会に資する商品やサービスの提供を通じて新しい価値を創造し、持続可能な社会の実現に取り組みます。

・私たちは、カーボンニュートラルやデジタル社会等に資する商品やサービスを技術革新により提供し、事業を通じた社会課題の解決に取り組みます。
・私たちは、お客さまと社会からの新たなニーズや改善への要望に耳を傾け、商品やサービスの開発や改良を行います。
・私たちは、安全性に十分に配慮し、環境規制を遵守した品質の高い商品やサービスを提供することにより、お客さまと社会からの信頼に応えます。

2. 人権尊重

人権に関する国際規範を遵守し、人々の多様性を尊重します。

・私たちは、互いの個性と自主性および女性の権利を尊重し、人種・国籍・性別・性的指向およびジェンダーアイデンティティ・年齢・宗教・信条・障がいの有無などによる差別は行いません。

・私たちは、職場における、ハラスメントや不快なまたは[*1]非人道的な待遇の発生を防止し、発生があった場合には迅速に適切な対応をとります。

・私たちは、[*2]強制労働や児童労働のない事業活動を行います。各国および地域の労働関連の法令を遵守し、若年労働者へ適正な労働条件を提供します。

・私たちは、事業活動にともなう土地、森林、水資源の取得、開発、またはその他目的の使用において、強制立ち退きや、対象資源の収奪を行うなど先住民やその他関係者の権利を侵害しません。

＜用語の補足説明＞

[*1]非人道的な待遇とは、労働者に対する暴力、ジェンダーに基づく暴力、セクシャルハラスメント、性的虐待、体罰、精神的もしくは肉体的な抑圧、いじめ、公の場での侮辱やみせしめ・晒し、または言葉による虐待等を指します。

[*2]強制労働とは、強制、拘束（債務による拘束を含む）または拘留労働、非自発的または搾取的囚人労働、奴隷労働または人身売買を指します。

3. 安全・快適な職場環境の提供

安全・快適で誰もが働きやすい職場環境を提供します。

・私たちは、各国および地域の労働関連の法令を遵守し、労働時間・休日・休暇・賃金・福利厚生などの労働条件を適正に提供します。

・私たちは、各国および地域の法令に基づき、社員の結社の自由および団体交渉に関する権利を尊重します。

・私たちは、各国および地域の安全衛生関連の法令を遵守し、社員が安全に安心して働ける職場を提供し、社員が心身ともに健康であることを追求します。

・私たちは、仕事と生活の調和を図り、多様な働き方の実現を目指します。

・私たちは、社員との誠実な対話と協議を通じて信頼関係を構築します。

・私たちは、社員に教育の機会を与えるとともに、意欲・能力を伸ばす機会を提供します。

4. 誠実な事業活動

国際規範や各国および地域の法令を遵守し、公正かつ透明で誠実な事業活動を行います。

・【倫理に基づいた事業活動】
私たちは、国際社会の一員として国内外の法令を遵守するとともに、各国および地域の文化や歴史を尊重し、高い倫理観を持って、誠実に行動します。決められたルールを守り、自信をもって仕事に取り組みます。

・【腐敗防止】
私たちは、*3 贈収賄、横領、背任、*4 利益相反、*5 インサイダー取引、*6 マネー・ローンダリング、司法妨害、および個人や組織の利得のために自己の職務上の権限や地位を濫用する行為を行いません。また腐敗行為の包括的な防止に努めます。

＜用語の補足説明＞

*3 贈収賄とは、不正な利益を得る目的で他者に金銭、贈答、接待等の供与（贈賄）を行うことを指します。その防止のためには、事業活動を行う各国および地域において公務員や政府関係者を含むステークホルダーと健全な関係を保ち、他者からのこれらの利益提供（収賄）は受けないことが重要です。また、贈答や接待は、業務上の正当な理由がある場合に限り、社会通念上妥当な範囲内で行い常習的な贈答、接待は避けなければなりません。さらに、許認可、ライセンスの取得、通関手続きなどの日常的なサービスを円滑かつ迅速に受けるために公務員に対して少額の金銭を支払う行為（ファシリテーションペイメント）も行ってはなりません。また、現金、備品、ソフトウェア、車両等、会社の資産を正当な業務目的のみに使用するとともに適切に管理し、自己または第三者のために利用しないことも重要です。

*4 利益相反とは、個人的な利害関係がある相手を取引先として選定したり、会社の事業と競合する事業を行うこと等、会社の利益を犠牲にして個人的な利益を得たり、親族や友人等第三者に利益を供与することを指します。

*5 インサイダー取引とは、会社や取引先等の未公表の重要な情報を用いて株式等の有価証券の売買を行うことを指します。それを行わないためには重要な情報の取り扱いに十分注意しなければなりません。

*6 マネー・ローンダリング（資金洗浄）とは、脱税、粉飾決算等、違法な行為によって得られた資金を隠蔽したり偽装することを指します。

・【公正な競争】
私たちは、市場における自由な競争の重要性を認識し、各国および地域に適用される競争法を遵守して、公正かつ自由な競争を行います。私たちは、同業他社等とのカルテル行為、またはそのような行為に該当すると疑われる行為を一切行いません。

・【契約の確実な履行】
私たちは、お客様および取引先との契約や合意を誠実かつ確実に履行し、信頼に応えます。事前に合意した条件による履行が難しい場合は、予め協議して両者で決定した条件で履行します。また、社会規範や法令に反する契約は一切締結しません。

・【個人情報・機密情報の保護】
私たちは、個人情報に関する法令および社内ルールを遵守し、正当な業務目的がある場合に限り、個人情報を収集、利用し、厳格に管理します。また、会社および第三者の機密情報の管理を徹底し、漏洩防止に努めます。

・【知的財産の保護】
私たちは、極めて重要な経営資源である*7 知的財産権を積極的に創造、保護、活用します。私たちは、偽造／模倣品の排除に向け必要かつ適切な措置を講じます。私たちは、他者の知的財産権を侵害しないように努めます。

＜用語の補足説明＞ *7 知的財産権とは、特許権、実用新案権、意匠権、商標権、著作権、等を指します。

・【確実な輸出入管理】
私たちは、製品その他の貨物、技術およびソフトウェアの輸出にあたり、国際社会の平和と安全の維持等のため、関連法令及び社内規則を遵守し、適切な輸出管理を行います。私たちは、製品等の輸出入にあたり、各国および地域の関連法令に従い、正しく通関申告を行います。

・【商品・サービスの品質・安全性確保】
私たちは、お客様との対話を通じて常に商品・サービスの品質向上に努めます。私たちは、品質に関するデータはお客様との約束にもとづいて取得・保管・確認を行い、データの盗用、改ざん、差し替え、隠ぺい等の不正行為は行いません。事故・不具合が発生した場合は直ちに適切な対応をとります。私たちの商品・サービスがお客様の安全に影響を及ぼすおそれが懸念される場合は、その発生、拡大を防ぐため迅速・適切に対応します。

・【正確な記録】
私たちは、適時・適切な情報開示を行うため、適用される法令や規則、社内ルールを遵守し、内部統制システムの確立と適切な運用により、財務情報及びその他の情報について正確な記録の作成と報告を行います。また、全ての記録は適用される法令や規則、社内ルールに沿って適正に保存・廃棄・消去を行います。

・【反社会的勢力への対応】
私たちは、反社会的勢力には毅然とした態度で臨み、一切関係を持ちません。反社会的勢力から接触があった場合は、個人で対応せず、直ちに上司（担当部門）に報告します。

・【行政との正常な関係維持】
私たちは、政治・行政と透明度の高い健全かつ正常な関係を維持することに努め、政治献金・寄付等は、各国および地域の法令に従って実施し、社会から疑念や不信感を招く行動はしません。

・【事業上のリスク管理】
私たちは、業務に関するリスクを常に意識してリスクマネジメントを実践し、リスクを把握して未然防止に努めます。リスクが発生した場合は、迅速に対応し、ステークホルダーへの影響の最小化に努めます。

・【内部通報制度の整備と報復の禁止】
私たちは、コンプライアンス違反またはその疑いのある行為を発見した場合は、速やかに上司または内部通報窓口に報告します。報告を行った者に対する報復は一切しません。

5. 企業情報の開示と説明

積極的な情報の開示とステークホルダーとの対話を通じて経営の健全性と透明性を高めます。

・私たちは、社会が必要とする情報は、正確かつ速やかに開示します。

・私たちは、ステークホルダーの声を真摯に受け止め、説明責任を果たします。また、ステークホルダーとの継続的な対話を通じて、信頼関係を構築します。

6.サプライチェーンへの社会的責任の浸透

取引先をはじめとするサプライチェーン全体で、社会的責任を果たす取り組みを推進します。

・私たちは、取引先は対等なパートナーとして尊重し、信頼関係の構築と相互発展に努めます。

・私たちは、責任ある資源調達の遂行、グリーン調達拡大を通じて、地域や社会の安全・発展に貢献します。

・私たちは、サプライチェーン全体に人権尊重、良好な労働環境、法令遵守に支えられた誠実な事業活動を求めます。

7. 地球・宇宙環境の保全

地球・宇宙環境の保全と問題の解決に取り組みます。

・私たちは、カーボンニュートラルへの貢献等、地球・宇宙環境の保全に貢献する商品やサービスを提供します。

・私たちは、サーキュラーエコノミーに向けた行動や水資源の有効活用等、事業活動における環境負荷の低減に率先して取り組みます。

・私たちは、生物多様性の保全と持続可能な利用に取り組みます。

・私たちは、各国および地域の環境関連の法令を遵守します。

8. 地域、社会との協調

良き企業市民として地域、社会の発展に貢献します。

・私たちは、地域、社会の一員として社会貢献活動に積極的に取り組みます。また、幅広いステークホルダーと連携・協働します。

・私たちは、社員の自発的な社会貢献活動を積極的に推進・支援します。

持続可能な社会の実現を目指す私たちの取り組みは、SDGs への貢献そのものです。

SDGs(Sustainable Development Goals)は 2015 年に国連で採択された持続可能な世界を実現するための17の目標と169のターゲット(達成基準)で、多くのグローバル企業の指針となっています。